

「教員になる」という想いを全力で支援します



未来への挑戦

令和4年度 第1号

宮崎国際大学 学生教職支援センター通信 2022年9月15日発行

今号の特集記事 / 教員採用試験のための特別対策講座



模擬授業の練習



グループワークの練習



教育実習前指導

若竹の伸びゆくごとく子ども等よ 真直ぐにのばせ身をたましひを

-若山牧水-

この短歌は、郷土の歌人「若山牧水」の代表的な歌です。筍は地表に出でから、短期間で見上げるような竹になります。それほど成長が早く、その伸び方もまっすぐです。若山牧水の思いは、教育に携わる・これから携わろうとする学生たちと同じ思いのように感じます。短歌から、子どもたちからだも心も知性もたくましくまっすぐ伸びてほしいと願う心が伝わってきます。

学生教職支援センターでは、教員採用選考試験のための対策講座を1年生から4年生まで計画し、実践しています。本年度も、新型コロナウイルス感染症拡大のため、手指消毒やマスク着用、換気の徹底、健康チェック表記入等の感染防止対策を徹底しながら計画の実施に努めています。



宮崎国際大学
マスコットキャラクター ミツク

教員採用状況と教員採用試験一次試験の結果について

宮崎国際大学の教育採用状況は昨年度現役2次合格率86.9%という高い合格率を達成しました。本年度、宮崎県は小学校募集定員が昨年度の210人から135人に減少しました。一次選考試験では、教育学部から宮崎県小学校27名、鹿児島県小学校1名、熊本県小学校1名、熊本市小学校1名の計30名が合格しました。国際教養学部(中学校英語)からは、宮崎県中学校2名、熊本県中学校1名、福岡市中学校1名の計4名が合格者しました。二次選考試験は、8月中旬から下旬に各県で行われました。

—宮崎県が目指している教師像—

- ◇ 子どもに対する愛情と教育に対する情熱・使命感をもち、子どもとの信頼関係を築くことができる。【愛情と情熱・使命感】
- ◇ 分かりやすい授業を行い、子どもに確かな学力を育成するなど高い専門性を身に付けている。【高い専門性】
- ◇ 社会人としての幅広い教養と良識や倫理観、心の豊かさを身に付けている。【幅広い社会性、倫理観、人間性】
- ◇ 絶えず学び続け、自らの資質・能力を高める。【学び続ける姿勢】

令和5年度(令和4年度実施)公立学校教員採用選考実施要項から

本年度の実施に当たっての変更点は次のようなものでした。

加点制度について

小学校及び中学校・高等学校教諭英語を受験するもので、小学校では**英検準一級**などのCEFR B2相当以上、中学校・高等学校では**英検1級**などのCEFR C1相当以上の英語力を有する場合は加点があります。本学で行われている「**英語ゼミ等**」に参加し、資格を取得しておけば加点があるので積極的に受講してほしいと思います。

第二次選考試験について

二次選考試験のグループワークでは、ICTを活用した課題が出されていましたが、新型コロナウイルス感染症第7波拡大により、試験直前に変更になりました。ICT活用については、文部科学省が重要視しているものです。その関係の技能等もしっかり身に付けてほしいと思います。

また、本年度は全ての受験区分、教科(科目)等の**模擬授業の「実施教科、領域、単元名等」**が**第二次選考試験の前に知らされました**。さらに、**集団討論を廃止し、新たにグループワークによる試験**がありました。

大切な英語力

小学校教員採用選考試験の英会話模擬面接では、名前や天候を聞く程度の英会話はできますが、自分の住まいの周辺の紹介(小学校外国語科内容程度)のレベルになるとつまづく人も多くみられました。2020年より小学校高学年では英語学習が必修化(外国語)され、英会話や英語の授業力向上が重要視されています。その外国語科の授業では、ALT(外国語指導助手)とチームで行いますが、中心となるのは学級担任です。ALT(外国語指導助手)より英語力が劣ることのないよう力をつける必要があります。

中学校の英語科では、中学校学習指導要領解説「外国語編」に「生徒が英語に触れる機会を充実するとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とするため、**授業は英語で行うことを基本**

とする。その際、生徒の理解の程度に応じた英語を用いるようにすること。」とあります。それぞれ英検の資格取得に努め、高い指導力を身に付けた英語教師として生徒の英語力向上に当たることができるようにしてほしいと思います。小学校英語教育においても、5・6年生での教育と中学校との系統性を考え、責任もって英語教育(外国語)内容の定着を図ることができるように努めてほしいと思います。



宮崎国際大学
マスコットキャラクター ミツク

外部講師による教員採用試験対策講座

本学では一次選考試験結果発表後、教員採用試験二次試験対策講座を実施しました。二次試験の受験生は、5日間徹底した指導を受けました。

宮崎国際大学では、様々な教員採用試験「対策講座」を行っています。その中でも、3年生は後期に、**外部講師による教員採用選考試験対策講座**があります。基礎的な教科内容や教職教養の他、教員採用選考試験の課題に沿った具体的な指導がなされます。採用選考試験直前になると、面接や模擬授業、英会話、グループワーク(今年から)の演習等が**毎日のように行われ、学生はめきめき力をつけていきます**。小学校教員選考試験専門教養は小学校全教科から出題されます。計画的に強い意志をもって進めていくことが大切です。特に、**模擬授業や英会話は他の人の前で発表する経験も大切です**。緊張感をもって行い、あらゆる角度からの質問への対応を日常の授業で心がけておくことが**試験に役立ちます**。二次対策講座では、学内・学外の先生方からくり返し指導を受けるので、この機会を大いに生かして力を付けてください。

4年生から後輩へのアドバイス

一対策講座のメリット

対策講座でたくさんの先生方から**複数の観点で指導をしていただいた**ことで、多くの学びがあった。指導を受けるにあたっては先生方の**アドバイスをもとに改善し、自分が納得いくまで考えるようにした**。また、他の人のよいところを参考にすることができ、そうした**積み重ねがよりよい面接、模擬授業へと作り上げることに繋がった**。試験当日が近づくにつれて、不安も大きくなったが、先生方に「自信をもって」臨めば大丈夫と声をかけていただいたお陰で励みになり、落ち着いてできた

10月からの外部講師の先生方は常に褒めてくださり、優しく指導していただいた。**褒めていただくことは回数を重ねるうちに自然と自信となった**。個人面接・模擬授業・グループワークは4人の先生方がローテーションで見えていただけのため、様々なアドバイスをいただくことができた。

必要な資料も毎回くださり、悩んだ際には、その資料を紐解きとても参考になった。

対策講座は1日1日違う学びがある。欠席することなく参加してほしいと思う。**配布して下さった資料はしっかり目を通してほしい**。それらの資料は一次試験にも二次試験にも役立つことができるので、**整理整頓して、どこにどのような内容がかいてあるのか把握できるようにしておく**とよいと思った。**面接や英会話などの過去問についてはノートを自分で作成し、どのようなことを伝えたいのか、意見をまとめておく**と、自分の考えを整理しやすいと思う。これらのノートは本番の待ち時間に見直すことができるので、**本番自分を落ち着かせるツールになる**と思う。

この対策講座はとて多くの学びがあり、試験のためだけでなく、教師になった際にも役立つような内容も含まれているため、是非休まず参加してほしいです。また、この対策講座に参加する際には、先生方が作ってくださった資料等をしっかり復習し、先生方が説明して下さることは適宜メモをとるなどして、その日に学んだことはその日のうちに復習し必ず自分のものにしてください。そうすることで自分の自信に繋がり、悔いなく本番を終えることができると思います。

先生方は教員採用試験の知識を多くもっているため、助言は自分にとってとても役立つものになってくると思います。実際に試験でも対策時に質問されたことが多く出題されました。また、友達の意見も聞きながら対策を行うことができるので思いがけないいい考えも思いつくこともありました。大変ですが、対策講座に参加することは、自分にとって絶対にプラスになると思います。

重要

1年生～4年生の教員採用試験のための『対策講座』

学生教職支援センターでは、教育学部小幼コースの学生を対象に教員採用試験のための特別対策講座を1年次後期から「基礎Ⅰ」、2年次以降は年間を通して「基礎Ⅱ」、3年次「応用Ⅰ」、4年次「応用Ⅱ」等を開設し、講義や指導を行っています。

昨年度から、1年次に小学校学習指導要領及び教科等の解説書を購入してもらい、活用しています。(教育学部小幼コース) 宮崎県の教員採用選考試験は、学習指導要領及び教科等の解説書からの出題が他県に比べ多い傾向にあります。総則をはじめ、各教科の目標、関連法等に重点を置き指導を行います。教員採用試験の中心となる内容ですから、真剣に受講してほしいです。

2年次の「基礎Ⅱ」と同様に、各教科や教職教養など基礎・基本に当たる内容の指導と演習が行われます。大学での講義・演習と関連させて取り組むことが3年次の教育実習や4年次の採用試験にも役立つのでしっかり取り組むことが大切です。

3年次「応用Ⅰ」では「専門科目及び教職教養対策」を行っています。本学教育学部の学生は、教育実習Ⅰ(小学校・幼稚園)前にCBTテスト(教育実習前学力テスト)や保育士・幼稚園就職模擬試験に取り組みます。また、教職ゼミ特別講座も開かれます。

さらに、教育実習前指導も宮崎県教育委員会や県校長会等の協力を得て、丁寧な指導がなされ、自信をもって実習に臨むことができるように準備をしています。教員には優れた教科指導の力が求められます。児童・生徒にとって授業はたった一回の大切な時間です。失敗・やり直しはできません。失敗・やり直しをなくすためにも、指導力向上の研修や教材研究が重要視されます。

それぞれの「対策講座」では、「教育実習発表会」や「4年生の学習法に学ぶ」の時間があります。「教育実習発表会」では4週間の教育実習(小学校・幼稚園)での学校や幼稚園での生活の様子や学習指導案作成等の苦勞、模擬授業の様子等が具体的に発表され、不安解消に一役買っています。「4年生に学ぶ」では7月(一次)8月(二次)の教員採用試験までの取組みを問題集や自作ノートなども披露し、学習ポイントや生活の仕方等を紹介するなど、後輩へ大きなエールを送っています。

